

【議会報告会】

○議会はこういった視点で議案審査しているのか。例えば中学校防犯カメラの更新について、機器がどこに設置されているかなど、現場までしっかり確認しているのか。

⇒議員 議案審査については、例えば今回の川島小学校の法面工事などは、金額面だけではなく、生徒の通学に危険はないのか等についても質疑している。2月定例会議会における当初予算審査については、新規事業も出されるので、それが本当に四日市のためになるのか、全市的な公平性はあるのかなどの視点で審査する。

また、今議会の審査においては、防犯カメラ等の現場確認は行っていない。ただし、他の機会で学校を訪れる際などに機器配置等は確認している。

○市の事業等については担当部局がしっかりやっていると思うが、予算の執行等について、議員は市民の代表として、できるだけ三現主義の立場、目線で確認、審査等を行ってほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○学校に設置されている防犯カメラの画質について、警察が画像解析などの捜査に活用できるものなのか。

⇒議員 学校の防犯カメラの画質等については、例えばオービスのように違反者を取り締まったり、逮捕するための証拠になるものではないというのが警察の見解である。防犯カメラを設置することで学校に対する犯罪を抑止するというのが目的である。

○保育園の副食費について、給食も保育の一環であり、本来無償であるべきだと考えるし、実際に徴収しない自治体もあるが、四日市市は今後どうしていくのか。また、副食費の無償化については、自治体間で差があり全国的な問題でもあるので、四日市市議会から国に対して無償化の働きかけを行ってほしい。

⇒議員 副食費を無償化する自治体が増えていることは事実である。教育民生常任委員会でも無償化した場合の市の財政負担について質疑を行ったが、家庭保育の子どもとの公平性の観点からも、本市として現時点で無償化する予定はない。

○中学校防犯カメラ機器の更新について、更新する機器にハイブリットレコーダーがあるが、これは何時間録画でき、何時間分を保存しておくのか。また、何時間ごとに画面が切り替わるのか。

⇒議員 担当部局に確認する。

### 【シティ・ミーティング】

《テーマ：心豊かな“よっかいち人”を育むまちについて》

#### Aグループにおいて出された主な意見

- 8050 問題について、ひきこもりの子を持つ親が状況を周囲に知られたくない、隠したがるということもあり、地域で支援をしようとしても難しい。行政主導での支援や対応について検討してほしい。
- 学校において日本の歴史教育をもっとしっかりと行うべきではないか。
- 公立保育園の開園時間について、共働き家庭にとって午後6時閉園は厳しい。私立保育園の中には午後7時、8時まで預かる園もあるので、公立保育園も預かり時間を拡大してほしい。それが不可能であれば、開園時間の長い私立保育園に入園できるよう配慮してほしい。保育士不足で開園時間の拡大が難しいならば、人材確保のため処遇改善を行うべきである。
- 市立博物館について、来場者が少ないので利用促進についてもっと検討すべきである。
- 認知症の人の徘徊等による鉄道事故については、鉄道会社から多額の賠償請求がなされる可能性があるが、こうした場合の補償制度について検討してほしい。
- 横断歩道の一時停止を守らない車両が多いので対応を検討してほしい。
- 四日市市は四日市港によって発展してきたのだから、千歳地区への設備投資も含めてもっと四日市港を充実させるべきである。また、外国客船の寄港をチャンスととらえ、クルーズ客に対して本市の産物販売、バスツアーなどを企画すべきである。

#### Bグループにおいて出された主な意見

- 児童虐待は貧困が原因となることも多いと考えるので、貧困家庭を減らすための対策が必要だと感じる。子育ては未来への投資であり、すぐに結果は出ないがしっかりとやってほしい。
- 児童虐待について、確かに貧困も原因の一つだと思うが、親個人の資質に尽きるのではないか。経済的に恵まれていても虐待をしてしまう親はいる。虐待を防止していくためには親に対する教育が必要だと考える。
- 「四日市市障害を理由とする差別の解消を推進する条例」は理念条例ではなく政策条例

と聞いているが、条例に沿って具体的にどのような政策を行うのか。障害者の人権と貧困の問題をベースに深く考えてもらうことが必要だと考える。

- 核家族化、雇用形態の変化、離婚率の増加など、今の子育て世代は子育てしやすい環境にないのではないか。また、離婚率の増加によって貧困家庭も増える中で、しっかりと支援していくべきである。
- 貧困家庭支援のためにも、義務教育が無償なのであれば、そこで提供される給食も無償にすべきである。
- 中学校給食が始まるのはいいことだが、1つの給食センターのみで安全性が担保できるか疑問である。例えば、統合により廃校となった学校跡地に2つ目の給食センターを建設したり、学校の大規模改修時に自校調理用の給食室をつくるなど、柔軟な考え方を持ってほしい。
- 市立博物館になぜ丹羽文雄氏の記念館を作り図書や作品等を置くのか。聞くところによると市立図書館のスペースが無くなったために市立博物館に移動させたとのことである。本来市立図書館で展示すべきものであり、現在の脆弱な図書館ではなく31万人都市にふさわしい図書館にすべきである。
- 久留倍官衙遺跡関連の展示について、市立博物館とくるべ古代歴史館で行われているが、2カ所で行うことは非効率であり、どちらか1つに集約すべきである。
- 自治体によっては、健康マイレージのポイントを幅広く使用できるところもあるので、本市においても使い勝手を良くすべきである。
- 市民の安全安心確保のため、危機管理監をもう少し充実できないか。危機管理監が1年で異動するなど腰掛け的に就かれても困る。副市長級が就くなど、議会としても考えてほしい。